

みんなのテラス(仮称)の起工式

2011年10月10日

澤田 繁 著

清水高原には別荘管理組合が管理運用するテニスコートが2面、別荘の中心的位置にある宿泊施設「スカイランドキヨミズ」に隣接した西の下にあります。

私の記憶によれば、別荘地を売り出した当時からテニスコートがあった気がするのでもう30数年になり傷みも激しく現在ほとんど使用されない状態が続いています。

起工式を行うにあたり、私一人で自宅から(A-41)から道がいまは途切れている山道跡を150mくらい登ったところにある鳴神神社に無事工事が完成することをお願いしました、帰りはA-33の横を通り本道に出て本道から自宅に戻り、車で会場に向かいました。



<鳴神神社におまいり>

みんなのテラスは、テニスコートに隣接した管理棟前に、縦として管理棟の幅目いっぱいの9mを考え横として出来るだけテニスコートの近くまでの4mの広さで建設することにしました。

床面は管理棟の床面と同じ高さにする事で、管理棟内の使えるスペース(9m×2・6m)と一面となり、両方合わせての広い床面を利用出来るよう設計した。

起工式前の作業は既に始まっており、竹野入さんを筆頭に屋根や、テラスに覆いかぶさる桜の木を枝をはしごとチェーンソーを使っておもいきりよく伐採



<桜の枝を伐採>

し、その枝を皆で片づけることで、起工式前の準備体操が十分できた。

起工式は、別荘管理組合の竹野入さん、スカイランドキヨミズの榊原支配人、参加出来た別荘の人は、起工式のための基礎石を提供してくれた高橋さん、今回のことをもとに Kiyomizu News 8号を編集する保坂夫妻、水品さん、平野さん、丹羽さん、吉見夫妻、清水夫妻の面々。

朝、鳴神神社で身を清めてきた私が、最初に宣言をし、基礎石をおいて簡単に終わりました。

起工式には、思った以上の多くの人に参加してもらい、今後(作業・利用など)うまくいく予感がしました、皆さんお疲れ様でした。



<基礎石を置いて終了>